

自由診療

2025.9月改定

<健康診断について>

- ・健康診断は随時行っております。ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。
- ・企業健診も対応しております。お電話にてご相談ください。
- ・当院での健診料金は保険診療点数に準じて行っております。(診療報酬改定により費用は変動する事がございます)
- ・個人健診一般(胸部X線、心電図、血液検査、尿検査、視力、聴力)を行った場合は、12.000円前後となります。(項目により変動あり)
- ・健診項目によりましてお渡しまでに数日かかりますので、余裕を持ったの予約をお願い致します。
- ・受診当日は健診項目の分かる書類を必ずお持ち下さい。

※検査項目、採血項目について「どの項目を検査すれば良いか?」とよく質問がありますが雇入れ健診や定期検診は事業所(職場)の責任で行うものであり当院ではお答えする事ができません。職場にお尋ねください。

●各項目の金額目安

診察料(初診料)(身長、体重、血圧、書類作成)	3100円
尿検査	260円
胸部X線	2100円
心電図	1300円
聴力検査(オーディオ)	400円
視力検査	690円
血液検査(生化学・貧血)	4330円
血液検査(上記+HbA1c)	4820円
腫瘍マーカー	CEA 990円 CA19-9 1210円 PSA 1210円
腹部エコー	5300円

便ヒトヘモグロビン（2回）	1080 円
骨塩定量（上腕）	1400 円
CAVI（血管年齢測定）	1000 円
胃内視鏡検査+病理診断	11400 円+9900 円

<その他の治療>

① 薄毛治療：当院では男性ホルモン型脱毛症（男性型脱毛症：AGA）に対し、

内服治療を行っています。男性型脱毛症とは、成人男性特有の進行性の脱毛症で、生え際や頭頂部の毛髪が薄くなったりするのが特徴で、遺伝や男性ホルモンの影響が主な原因だと言われています。

特に 20 代以降の男性に多く見られ、日本人男性の 3 人に 1 人が AGA だと言われています。AGA は治療せずに放置すると進行していきますので、早めの治療が大切です。フィナステリドは、テストステロンと酵素の結合を防止して、テストステロンより作用の強いジヒドロテストステロン（DHT）になることを抑制することで、主に脱毛を予防し、次第に毛周期を整えることで育毛の効果があります。

当院では 1 回の受診で 1～2 ヶ月分のフィナステリドを院内処方します。

（1 ヶ月分 約 6500 円）

なお国内では、外用としてミノキシジル（1%と 5%）などが販売されており、フィナス

テリド内服との併用が有効です。

② ED 治療：勃起障害（ED）とは、性交を行うのに十分な勃起を達成または持続できないことです。ED は一般に精神障害、神経系の病気、血管の病気、けが、または一部の薬の副作用や手術の合併症に起因します。最もよくみられる具体的な原因としては以下のものがあります。

- 陰茎に通じる動脈を侵す動脈の硬化（動脈硬化）
- [糖尿病](#)
- [前立腺の手術](#)の合併症
- 特定の薬、例えば高血圧または[前立腺肥大症](#)の治療に用いられる薬、うつ病の治療に用いられるものなどの中枢神経系に作用する薬

当院では複雑な ED に対する検査、治療は行っていませんが、[経口のホスホジエステラーゼ阻害薬](#)（シルデナフィル）の院外処方を行っています。この薬は陰茎への血流量を増やすことで効果を発現します。空腹時、性交の少なくとも 1 時間前に服用してください。硝酸薬（ほとんどの場合狭心症を治療するためのニトログリセリン）を服用している男性は、併用すると危険なレベルまで血圧が低下する可能性があるため、この薬は使用できません。ホスホジエステラーゼ阻害薬のその他の一過性の副作用には、紅潮、視覚異常（色覚異常など）、頭痛などがあります。

当院ではバイアグラ（50）を院外処方します。（診察料+処方せん料 約 1500 円）
薬剤費は、薬局にて別途お支払いください。

自費診療のワクチンの料金表 2026年4月1日改訂

ワクチン名	料金 (円)	打ち方・注意事項
肺炎球菌 プレベナー20	12100	2026年4月から定期接種
肺炎球菌 キャップボックス	14000	以前の肺炎球菌ワクチンの追加免疫に
インフルエンザ	3歳以上 4000 3歳未満 2000	3歳未満は2週間後にもう1回
帯状疱疹 (弱毒生ワクチン)	7700	5年後の追加接種をお勧めします。
帯状疱疹 (不活化ワクチン)	22000×2回	2か月後にもう一回注射。 (ずれても6か月以内)
麻疹・風疹混合ワクチン	12200	
A型肝炎	15000×2～ 3回	流行地への旅行前には2週間の間隔をあけて2回を推奨。3回打ちがベスト
B型肝炎	5500×3回	3回打ち (1回目から1か月おき2回目接種。その後5か月開けて3回目)
おたふくかぜ	7700×2回	2回打ち推奨 (1か月開けて接種) 接種後2か月は避妊すること。
子宮頸がんワクチン (9価)	25000×3回	3回打ち (初回から2か月開けて2回目接種。その後4か月後に3回目)
RS ワクチン	25000	
破傷風	3500	1か月後に2回目、その半年から1年後に3回目を接種します
新型コロナワクチン	16500	1年に1回

带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹のワクチンは2種類あります。

ワクチンの種類	弱毒生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回（皮下）	2回（筋注） 2（～6）か月間隔
発症予防効果※	1年目 38～68% 6年目 17～33%	1年目 97.7% 6年目 88.5%
带状疱疹後神経痛 予防効果※	1年目 70% 6年目 52%	10年でも73%発症予防なのでかなり高い
副反応	局所反応・発熱が1～3%	筋肉痛・頭痛・倦怠感など30～40%
費用	7700円	22000円×2
注射できない方	① 発熱や急性疾患にり患している方 ② 本剤の成分に強いアレルギー症状のある方 ③ 妊娠している方 ④ 免疫抑制剤（ステロイドなど）使用中のかた。 ⑤ 明らかに免疫が低下している方	
まとめ	費用は安いですが、発症予防の効果はやや低い。神経痛の予防効果は50%くらい。副反応は軽い。	費用は高いが、効果は10年でも続く。副反応はやや多いが、重篤なものではない。


大人の定期接種の肺炎球菌ワクチン（65歳から）について

1) 肺炎球菌定期接種について

2026年4月から大人の定期接種の肺炎球菌ワクチンはプレベナー20（**20価ワクチン**）に変更されました。以前のニューモバックスというワクチンよりも効果が高いため、5年後の追加接種は不要となりました。ニューモバックスよりも値段の高いワクチンのため、自己負担は磐田市では6000円となっています。

2024年4月以降

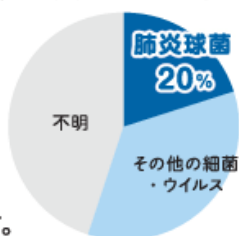
肺炎の主要な原因である 肺炎球菌の感染症を 予防できるワクチンがあります



65歳の方などを対象に定期接種を実施しています。

肺炎球菌とワクチンについて

- 肺炎は日本の**死亡原因の第5位**であり、成人の肺炎の**約2～3割**は、**肺炎球菌という細菌により引き起こされる**との報告があります。
- 肺炎球菌は、このほかにも、血液の中に細菌が回ってしまう敗血症（はいけつしょう）などの重い感染症の原因になることがあります。
- 肺炎球菌による感染症に対して、すべての肺炎などが防げるわけではありませんが、**有効性・安全性が確認されているワクチン**があります。



原因	割合
肺炎球菌	20%
その他の細菌・ウイルス	
不明	

(※) Y Fujikura, et al. BMJ Open Respiratory Research 2023; 10 (1) :e001800 の結果より作図

2) 以前の肺炎球菌ワクチンを打った方への追加ワクチンについて

以前ニューモバックスという肺炎球菌ワクチンを接種した方で、5年以上経過している方は、追加のキャップバックス（21価）というワクチンをお勧めしています。プレベナー20よりもカバーしている肺炎球菌の型が多く、効力も高いと考えられます。値段は自己負担で14000円となります。

RS ウイルスの母子免疫ワクチン（アプリスボ）について



令和8年度から、
妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

RSウイルス 感染症

に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種

を実施します。

使用するワクチン(母子免疫ワクチン)について

母子免疫ワクチン(ファイザー社の組換えRSウイルスワクチン:アプリスボ[®])を使用します。このワクチンは、妊婦の方に接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。



接種スケジュール

妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種

RS ウイルス (respiratory syncytial virus、RSV) は、主に乳幼児に多く見られる急性呼吸器感染症の原因として有名なウイルスです。生後1歳までに半数以上、2歳までにほぼ100%の子供が少なくとも1度は感染するとされています。乳幼児が感染すると3割のお子さんは重症化して、入院が必要な場合もあります。生まれたばかりのお子さんに免疫力をつけるには、妊娠中(妊娠28週から35週6日まで)のお母さんにワクチンを打って、赤ちゃんに免疫を移行させる方法が有用です。公費負担(自己負担なし)となりますので、該当する妊婦さんはぜひワクチンを受けてください。

子宮頸がんワクチンについて

ワクチン対象

HPVワクチンの定期接種（公費）の対象者は、小学校6年～高校1年相当の女の子です。また、今年4月の積極的勧奨の再開までに接種の機会を逃してしまった対象者にも改めて接種の機会を設けられます（詳しくは、パート2参照）。

イラスト/アサクラカヨコ

子宮頸がんの罹患患者数

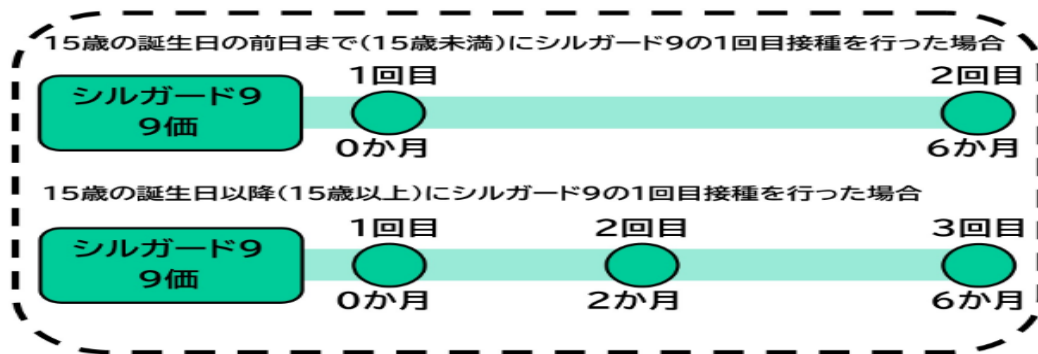
約1.1万人/年

日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんになっています。子宮頸がんは、20歳代から増え始め、若い世代の女性のがんのなかで多くを占めています。

厚生労働省ホームページより

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202205_00001.html

子宮頸がんのワクチンには、最も子宮頸がんの原因となる HPV 16, 18 型に対する 2 価ワクチン、それに尖圭コンジローマの原因ウイルスの 6, 11 型もカバーできるようにした 4 価ワクチン、さらに子宮頸がんの原因ウイルスとなる 31, 33, 45, 52, 58 型もカバーできるように開発された 9 価ワクチンがありました。2026 年 4 月からは、9 価ワクチンのみとなりました。



ワクチン接種がずれたときの対応

9 価ワクチンを 15 歳未満で打つ場合 6 か月開けなくてはなりません、少なくとも 5 か月以上開けて打つ必要があります。5 か月未満で打った場合、3 回目が必要とされています。

15 歳以上で 3 回打つ場合、2 回目は初回接種の 1 か月以上開けること、3 回目は 2 回目接種から 3 か月以上開けて打つ必要があります。